

とめNNだより

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称 NN 部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年 4 回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

【東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部広報広聴委員会】

■津山農地水環境保全隊主催「生き物調査」に参加！！（登米市津山町）

登米管内の津山農地水環境保全隊が 7 月 11 日に「生き物調査」を実施したことから、当事務所の職員が保全隊の活動状況取材するとともに、保全隊の活動をサポートしました。



▲生き物調査の様子

「僕たちは生き物調査が楽しみでたまりませんでした！」と元気な児童の挨拶で開始した生き物調査。講師として「ナマズのがっこう」の三塚牧夫先生が招かれ、登米市立横山小学校の 4 年生 13 人を対象に、生き物の捕り方、カエルやドジョウの種類の見分け方、注意事項等を丁寧に教えていました。最初は水路に入ることも、生き物に触れることも「おそろおそろ」の子どもたちでしたが、数分後には網をすくい上げる格好もたくましく感じられました。

本活動を通じ、保全隊と子供たちの交流が図られ、さらには自分達の農村にどのような生物が生息しているのかを確認できました。



■登米地域における多面的機能支払交付金制度の取組状況について

多面的機能支払交付金制度は、平成 26 年度から始まり、農業農村が持つ多面的機能の共同維持活動を支援しています。現在、登米地域では、多面的機能維持の共同活動を支援する『農地維持支払交付金』で 148 組織、水路、農道等、地域資源を守る共同活動を支援する『資源向上支払交付金』で 130 組織と取組実績で県内 1 位を誇り、活動範囲は市内耕地面積の 6 割をカバーしています。今年度は、豊里地域で登米市豊里町土地改良区が事務の引受先として広域化を進め、17 組織による広域活動組織が設立され、本地域で 3 つ目の広域

活動組織が誕生しました。この制度が、今後も農業農村を守る共同活動の一助になることに期待します。

◇平成29年度取組状況

交付金の名称		組織数	交付対象面積(ha)
農地維持支払交付金		148	11,167
資源向上支払交付金	共同活動	130	10,479
	施設の長寿命化	43	3,741

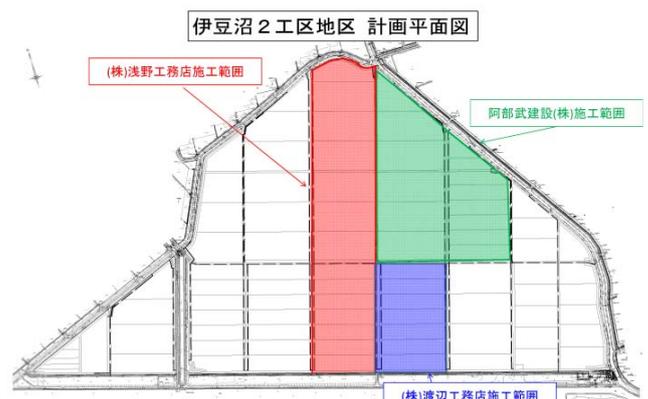


■農地整備事業「伊豆沼 2 工区地区」の工事安全協議会設立について（登米市迫町外）

事業実施中の農地整備事業「伊豆沼 2 工区地区」について、平成 29 年 9 月現在 46.0ha のほ場整備工事を 3 件の工事として 3 業者が受注し区画整理工事を施工しています。工事箇所が隣接することから、工事安全協議会を設立し、各工事の合同安全パトロールの実施や、安全管理、工程管理の情報交換と調整を協力して実施していき、来年の引き渡しを目指しています。



▲工事安全協議会の会議の様子



■生きもの調査指導者養成全国研修会に参加！！（登米市迫町）

8月4日から5日にかけて、栗原市くりはら交流プラザ（エポカ 21）、石巻市北上地区及び当管内の伊豆沼2工区地区で行われた「生きもの調査指導者養成全国研修会」に当事務所の對馬技師が参加しました。全国研修会ということで福島県や遠くは佐賀県からの参加者もいました。

研修では、座学や実習を通して生きものに対する正しい知識、調査を行う上での事前準備や安全管理などを学び、実際に伊豆沼2工区地区内の水路で採取、同定作業を行いました。同定された生きものの中には外来生物が少なくエビやメダカが多く見つかリ、環境に配慮されていることが分かりました。各地方によって作業方法や生息している生きものが違うということも勉強になりました。

生きものに触れる機会が少なくなっている今、生きもの調査を通して生きものに触れる楽しさを子どもたちに伝えていきたいです。



▲ウシガエル採取の様子



■金谷揚水機場の緊急補修工事について（登米市登米町）

今年6月に金谷揚水機場で減速機歯車の破損に伴いポンプが緊急停止しました。機場はS57年の造成後、管理者により丁寧に管理されていましたが、用水期間中に突然稼働停止しました。適正化事業でポンプのオーバーホールを予定していた矢先の出来事でしたので、今後は水利施設整備事業の緊急補修工事を活用し来年の用水に間に合うよう整備を進めることになりました。



▲金谷揚水機場(立軸斜流ポンプφ1000mm, 受益面積A=1,038ha)



緊急補修工事は突発的の事故に対応できる事業ですが、県に配分されている予算内での実施であるため、予算確保が大きな課題となります。今回は登米管内をはじめ県内全域から協力をいただき、何とか予算確保することができました。突発事故の対応には多大な労力と費用が伴うことから、これらを回避するためにもストマネ事業を活用し、計画的に長寿命化が図れるよう取り組んでいきます。

■「五ヶ村堀ドライ始動」について農業農村工学会全国大会講演会で発表！！

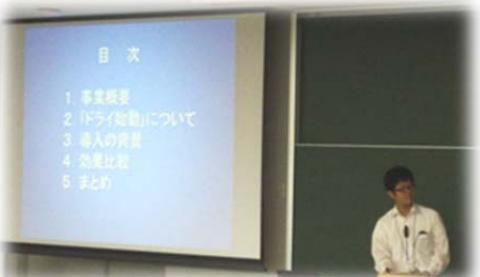
水利施設整備事業(基幹水利施設整備型)五ヶ村堀地区「五ヶ村堀第1排水機場」のモーターポンプに導入したドライ始動の技術について、農業農村工学会全国大会講演会で発表を行いました。



▲新設機場モーターポンプ

本技術はポンプの始動時に要する始動電流を低減する技術であり、機場周辺で発生する可能性のある電力障害を防止する効果が期待されます。なお、本技術を新設ポンプに導入した事例は五ヶ村堀第1排水機場が全国的に初めてとなります。

事業完了まではもう少し期間がかかりますが、今後も品質の向上及び安全確保に留意しながら現場を進めていきます。



▲大会講演会での発表の様子

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
 農業農村整備部 広報広聴委員会（編集:管理調整班）
 〒987-0511
 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5
 Tel : 0220-22-5169
 Fax : 0220-22-6015
 E-mail : et-tmnbkt@pref.miyagi.lg.jp
 URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>

～復興へ 頑張ろう！みやぎ～